



Tohoku University DRR Actions
Contributing to Global Disaster Resilience



2018年大阪府北部の地震調査報告会

大阪府北部の地震による 企業への影響について

2018.7.6

寅屋敷 哲也・丸谷 浩明

東北大学 災害科学国際研究所

人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野

調査の概要

- ① 6月18日の大阪府北部の地震による企業への影響について記載のある新聞記事やWEBニュース記事を引用。
- ② 上記記事に該当する企業等のHPにおいて、この災害に関する発表があるものについて整理。
- ③ 対象の主な企業の業種は、製造業、小売、飲食サービス、娯楽業である。
- ④ 整理した企業の数は70である。
- ⑤ 整理した企業のリストは東北大学災害科学国際研究所ホームページの「大阪府北部地震特設ページ」に掲載。

企業被害の調査結果の一覧表

【地震の影響が1週間程度残った企業の概況】

地震の影響が1週間程度残った企業の名称(表中のNo.)及びその概況を以下に示す。なお、収集した情報から影響が残っているか不明な企業は下記に含まれていない。

- サントリー(No.32)**: 京都長岡京のビール生産工場で、充填設備の被害のため生産ができず、27日に生産再開。
- 第一三共(No.18)**: 大阪高槻の工場が換気ダクト落下等により稼働停止、生産再開(27日5時時点の記事)、29日までに通常操業となる見込み。
- クラシエホールディングス(No.16)**: 高槻の第一工場が20日より、第二工場が25日より稼働再開予定。
- クボタ(No.25)**: 兵庫尼崎の水道管を製造する工場が、溶解炉の点検のため21日まで設備点検し、22日から通常運転。
- パナソニック(No.8)**: 高槻の照明器具を生産する工場が、水道やガス等のインフラ復旧の遅れにより、21日をめどに順次稼働、25日に通常操業の見込み。
- 椿本チエイン(No.28)**: 長岡京の減速機等を製造する工場は、18日から操業しているものの、一部加工設備の点検を継続し、通常通りの稼働に27日頃までかかる見通し。
- 日野自動車(No.1)**: 大阪摂津にある部品センターの部品保管棚が損傷したため、部品を出荷停止しており、24日から順次供給を再開する予定。
- 数島製パン(No.33)**: 大阪豊中の食パン等を生産する工場が、19日時点で2ライン稼働しているものの、残り3ラインを週末までに順次再開する予定。
- そごう・西武(西武高槻店)(No.40)**: 高槻にある西武高槻店は、19日まで休業、20~21日は地階・1階のみ営業、22日から地階~5階まで営業再開。
- 三井不動産(ららぽーとエキスポシティ)(No.45)**: 大阪吹田にあるららぽーとエキスポシティは22日まで営業中止、23日通常営業(一部店舗休業)。
- ビームス(No.58)**: 18日は15点休業し、順次営業再開、22日まで2店(ららぽーとエキスポシティにある店)は休業予定。

No	業種	企業等	被災地域	出典	概要	影響の要約
1	製造 (自動車)	日野自動車	大阪府摂津市	日刊工業新聞2018年6月19日05:00	日野自動車は18日、大阪府摂津市にある部品センター「大阪部品デポ」からの部品供給を停止した。地震で部品保管棚が損傷したため。18日以降の出荷については調査中。	<ul style="list-style-type: none"> ・18日部品出荷停止(部品保管棚損傷) ・19日部品出荷停止 ・24日から順次供給再開
				日刊工業新聞2018年6月20日05:00	整備工場に部品を供給する日野自動車の部品センター「大阪部品デポ」(大阪府摂津市)は19日も出荷を停止した。18日の地震で部品保管棚が損傷したため。今週中に部品の整理などを終え、24日から順次供給を再開する	
2	製造 (自動車)	ダイハツ工業	大阪府池田市、京都府大山崎町	日本経済新聞2018年6月18日10:53	ダイハツ工業が本社工場(大阪府池田市)と京都工場(京都府大山崎町)の点検で稼働を一時停止。	<ul style="list-style-type: none"> ・18日2工場稼働停止 ・18日夜、大阪の本社工場は再開、滋賀工場通常稼働 ・19日に部品供給遅れで3工場が稼働停止(取引先生産休止) ・19日夜からうち2工場は生産再開 ・20日から全工場通常稼働
				REUTERS 2018年6月18日13:35	ダイハツ工業 池田工場(大阪府池田市、「ブーン」など製造)、京都工場(京都府乙訓郡、「ムーブ」など製造)が稼働停止中。	
				毎日新聞 2018年6月18日21時12分	ダイハツ工業は、本社工場(大阪府池田市)と京都工場(京都府大山崎町)が一時操業を停止した。同社によると、部品調達先は関西地方に多く、「取引先の被災状況はまだ調査中。工場が再開したとしても、部品供給が滞る可能性もゼロではない」と話す。	
				日刊工業新聞2018年6月19日05:00	完成車メーカーはダイハツ工業が、本社工場(大阪府池田市)と京都工場(京都府大山崎町)を停止した。設備点検を終え、本社工場は18日夜に操業を再開。滋賀工場(滋賀県竜王町)は通常稼働した。19日の操業は、部品在庫の状況を見て決める。	
				SankeiBiz 2018年6月19日7:15	自動車では、ダイハツ工業が、親会社のトヨタ自動車などの小型車を生産する本社工場(大阪府池田市)を停止したが、18日夜から稼働を再開。	

詳細はIRIDeS 大阪府北部地震特設ページをご覧ください。

地震による企業への影響の特長(1)

- ① 従業員出勤困難等により操業を(一部)停止(18日)
- ② 物流の遅れの影響を受けた(18日)
- ③ 製造業では、工場の設備が直接被害を受けて操業を停止
 - ・サントリー: 京都長岡京のビール工場で充填設備の被害のため生産できず、27日に生産再開
- ④ 製造業では、ライフラインの供給停止により操業を停止
 - ・パナソニック: 高槻の照明器具の生産工場が、水道・ガス等の復旧の遅れにより、21日から順次稼働、25日に通常操業。
- ⑤ 製造業では、倉庫等が被害を受けて、部品出荷を停止
 - ・日野自動車: 大阪摂津にある部品センターの部品保管棚が損傷したため出荷停止、24日から順次供給再開

地震による企業への影響の特長(2)

⑥ 百貨店・複合商業施設では、施設・設備点検等による営業休止

・西武高槻店：19日まで休業、20～21日は地階・1階のみで営業、22日から地階～5階までで営業、6階営業再開(27日5時時点)

⑦ 飲食サービスでは、ガス供給停止による営業休止

・吉野家ホールディングス：18日午前中で最大41店舗営業一時中止(ガス供給停止)

・鳥貴族：18日は30店近くが臨時休業、20日時点で高槻市内の2店のみ休業(ガス供給停止)

まとめ

- ① 地震当日は、従業員の出勤困難が広範囲で発生し、物流混乱もあった。
- ② 工場の災害対策としては、引き続き耐震対策（工場設備・部品在庫棚等含む）が必要である。
- ③ ライフライン復旧が遅れた地域における、水・ガス依存の企業（製造業・商業・サービス業いずれも）は事業再開に時間がかかった。
- ④ サプライチェーン（供給連鎖）に影響が出るような企業被害の影響は少数に留まるとみられる。